



野比中だより

絆 きずな
—響き合いを大切に—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

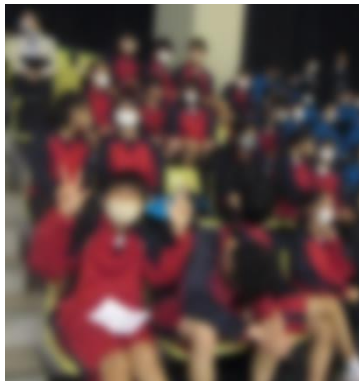
tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791



一瞬のプレーを 一生の思い出に

第72回横須賀市中学校総合体育大会が、4月15日(土)に横須賀アリーナで行われた総合開会式を皮切りに、市内の体育館や競技場、そして中学校を会場として行われました。この中学校総合体育大会は、夏休みに水泳競技、そして秋に駅伝競技が行われます。



総合開会式の前日、4月14日(金)には、放送での壮行会を行いました。各部の代表が視

聴覚室に集まり、放送を通じてそれぞれの決意を表明しました。各クラスでの反応は見ることはできませんでしたが、視聴覚室での代表の皆さんの“気合・意気込み”はとても素晴らしく、きっと練習の成果を十分に発揮してくれるだろうと感じました。

新型コロナウイルス感染症の対策についてはかなり緩和が進みましたので、どの競技、どの会場でも、参観者やマスクの着用についても緩和が進みました。多くの家族の方に、皆さんが競技に取り組んでいる様子を応援していただくことができたのではないかと思います。

私もすべての会場を訪れることはできなかったのですが、いくつかの会場を回り、皆さんが頑張っている様子を応援することができました。熱が入りすぎて、ちょっとのどが痛くなる場面もありました。

ステージに立つ

野比中学校には「運動部」だけでなく、吹奏楽部、美術部、演劇部といったいわゆる「文化部」もあります。私は運動部でも文化部でも、どの部活動においても「ステージに立つ」ということがとても大切な要素であると考えています。

それぞれの部活動にはそれぞれのステージがあります。吹奏楽部や演劇部であれば文字通り「ステージに立つ」ですが、美術部でも作品を提出するという行為が「ステージに立つ」

ことに当てはまるように思います。サッカーのようなチームスポーツであっても、チームとして試合に臨んでいるときは、チームとして「ステージに立っている」し、さらには「ドリブルをしている」ときは、その瞬間瞬間を一人一人が「ステージに立っている」と考えらえると思うのです。

「ドリブル」をしている時というのは、その最中には、もう他の人に頼ることなく、自分の力でドリブルをしています。ドリブルをしながら、ディフェンスをかわすことや、見方を探してパスをすること、さらにはシュートをすることなど、自分自身でいろいろなことを判断し実行しているのです。もちろん味方が助けに来てくれたり、ベンチにいる先生や仲間が応援してくれることも、大きな要素にはなります。しかし、総合的にどんなプレイをするのかは、自分自身なのです。こうしたことが、一人一人の成長につながっていると考えているのです。

さらには、矛盾することを言うようですが、一人一人の成長は、一人一人だけの力では成し遂げられません。陸上のような個人種目であっても、チームとしての取り組みがあり、仲間の存在が一人一人の成長に大きくかわります。部活動というのは、一人一人の成長と仲間のかわり、そして仲間全体の成長を願って行われていくものだと思うのです。

この「ステージに立つ」という視点は、実は部活動のことだけを取り上げることではありません。周りを見渡してみると、野比中学校の生活では、皆さんに様々なステージが待っています。これから行われる生徒総会で、執行部の人だけでなく、一人一人にそれぞれのステージがあります。普段の授業でもステージがあります。

一人一人の「ステージ」で皆さんが成長していくことを期待しています。

ひまわり100本

小雨交じりの5月7日。ゴールデンウィーク最終日に、「友好のひまわり」植え付けイベントが開催されました。

このイベントは、地域の東友会と水仙の会の方々が中心となって、町内会や青年部、PTA、消防団……、の皆さんが集まり、野比東小学校や地域の公園などにひまわりの苗を植え付け、さらには友好都市である会津若松市に苗を送るというものです。



野比中学校にも、正門に入ってすぐのところに、なんと苗を100本も植えていただきました。(ちなみに、このイベントに本校の3年生が参加してくれています。さて誰でしょう??)



今はまだ子葉から本葉が出てきたところで、とっても小さな小さな苗の状態です。登下校の際にはぜひその成長を皆さんで見届けてほしいなと思います。

登下校で正門を使わない人は、野比東小学校の付近や、野比中わきから小学校へ上がる坂道の途中の花壇、さらには花の国プールなどでも植えられたそうです。野比中のことをいつも考えてくださっている地域の方々がいらっしやることを忘れないでほしいと思います。